

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
医療基礎2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	2期	長島 浩		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
衛生学・公衆衛生学の範囲である。予防医学活動、衛生統計、健康増進活動、環境医学および産業医学等について詳細に分析しながら、我が国の衛生の動向を検討する。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		医療従事者として健康・予防医学活動を実践するために、我が国の保健、社会保障制度および医療分野の現状、生活問題について理解する能力を修得するとともに、公衆衛生関連の関係法規についても修得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子、成人、高齢者の保健医療、介護保険等について、過去から現在、将来における動向を理解し、説明ができる。 2. 学校保健および精神保健について要点を列挙できる。 3. 働く人の健康障害の種類、原因、因果関係、さらに健康障害予防対策を実践するための手法を説明できる。 4. 疫学の各種用語とそれらの定義を理解し説明できる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
疾病の病態生理、発がん等の医学の知識・専門用語、そして国際社会が直面している保健医療などの問題点を検索・知識として持ち受講する。							
教科書・参考書							
教科書:衛生学・公衆衛生学(全国柔道整復学校協会監修) 参考書:公衆衛生がみえる2022/2023(メディク・メディア社)							
受講上の注意							
学習範囲が広範であるため、復習が不可欠である。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	母子保健			P.121~133	筆記用具		
第2回	学校保健			P.135~152	筆記用具		
第3回	産業保健(1)			P.153~163	筆記用具		
第4回	産業保健(2)			P.163~192	筆記用具		
第5回	成人・高齢者保健			P.175~192	筆記用具		
第6回	精神保健			P.193~204	筆記用具		
第7回	地域保健と国際保健			P.205~218	筆記用具		
第8回	衛生行政と保健医療の制度			P.219~243	筆記用具		
第9回	医療の倫理と安全の確保/疫学			P.245~264	筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
埼玉医科大学医学部衛生学教室で17年間、東京慈恵会医科大学環境保健医学講座で3年間、衛生学公衆衛生学に携わった実績を踏まえ、教育・研究の実務経験の観点から、公衆衛生学について講義する。							
メールアドレス							
nagashima-t@nihonisen.ac.jp							